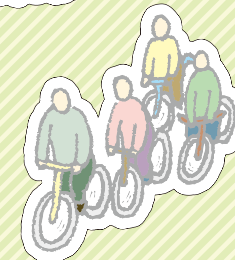
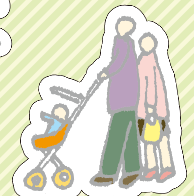
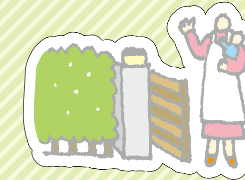
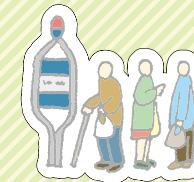
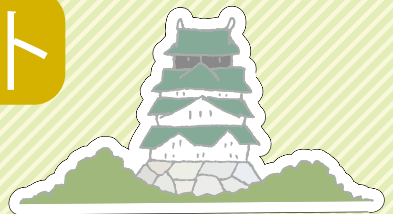


オープン 上町台地

in OSAKA

VOL.3

イベントレポート



上町台地
UEMACHI DAICHI

【発行】上町台地マイルドHOPEゾーン協議会

E-mail : info@uemachi-hope.net

H.P. : <http://uemachi-hope.net/>

上町台地各所で
23日間開催!!

2013.1.26_土~2.17_日

上町台地ならではの建物や空間を一挙に開く
40のまちびらきプログラムコレクション!!
あなたもきっと上町台地に住みたくなる。

上町台地と、ここで暮らす人の魅力を感じる まちびらき

オープン台地 in OSAKA VOL.3 イベントレポート

index

- 01 日常記憶地図-それぞれの生活圏-
- 02 三畳模様替えなう。
- 03 四天王寺・夕陽丘パネル展
- 04 みんなで仕事をする日
- 05 都市の歴史を紡ぐ風呂屋
- 06 上町台地の北端「北大江地区」を訪ね歩く
- 07 お寺のまちdeキャンドルナイト
- 08 特別公開 旧第四師団司令部庁舎
- 09 オープン区役所in天王寺
- 10 上町台地のおもしろ写真発表会
- 11 慶沢園ガイドツアー&お薄と長生庵公開
- 12 ちびっこ侍・忍者体験
- 13 上町台地の「生活の柄3」
- 14 上町台地オープンフェスタ! in 天王寺動物園
- 15 上町台地タイムトリップ
- 16 町内会ならぬ台地内会!?
- 17 木の都 タニキウエアポケット
- 18 RE:赤バス
- 19 詩の学校 特別企画 上町台地と寺町編
- 20 井戸端ワークショップ
- 21 〈おもいで〉モノ語り
- 22 「まちライブラリー」の集い
- 23 もっと知りたい難波宮ツアー
- 24 新規流入者と地元の人々との関係
- 25 からほりまちアートの研究
- 26 クロージングトーク
- 27 からほりごはん 〜からほり井を作ろう!〜
- 28 上町台地の神社仏閣を語る
- 29 第20回記念うえまちコンサート
- 30 ギャラリー茶論(サロン)がお気に入り♪
- 31 大阪あるこ①〜空堀商店街を遊ぼう
- 32 大阪あるこ②〜空堀商店街を遊ぼう
- 33 大阪自転車スタンプラリー in 上町台地
- 34 ワン・ワールド・フェスティバル
- 35 上町台地と空堀商店街を巡るまち歩きツアー
- 36 煎茶のサロン
- 37 節分だよ! 招福ビル開き&“お豆”な屋台
- 38 上町台地を想像観光する
- 39 世界とつながる四天王寺ツアー
- 40 とらとうちゃんの道案内しよッ!

■ イベント総括・アンケート

1~40のプログラム報告文は各企画者が執筆しています。

01~26 上町台地マイルドHOPEゾーン協議会主催 公募企画

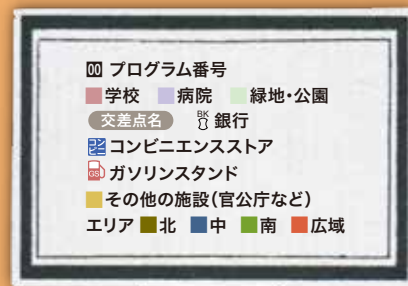
27~40 オープン台地連携企画

今回、3回目の開催となった「オープン台地inOSAKA」。協議会主催のプログラムを中心に連携企画や研究発表、クロージング企画も含めて40の企画を2013年1月26日(土)から2月17日(日)の23日間にわたり実施した。

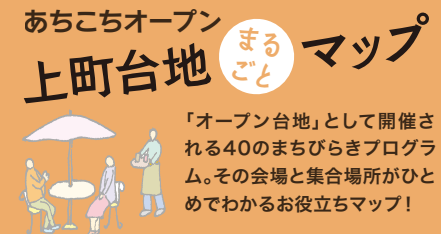
都心に建ち並ぶオフィスビル群と歴史観光資源たっぷりの神社仏閣群や建築物等が混在するこのエリア。今、この新旧さまざまな文化が織り混ざるまちだからこそユニークでクリエイティブな「上町台地都心居住スタイル」が広まりつつある。北は天満橋周辺から、南は天王寺周辺までの多種多様でリアルな生活空間を「住む」「働く」「楽しむ」という視点で一挙に紹介する。

今年もテーマは「上町台地のまちびらき」。英国で毎年秋に開催される「オープン・ハウス・ロンドン」になったこの催しは、前回にひきつづき街の建物やスポットをオープンし、上町台地とここで暮らす人の魅力を感じることのできるまちびらきとなった。

本レポートでは各プログラムについて写真を交えて紹介するとともに後半ではイベントの総括とアンケートをまとめた。



23日間にわたり、
上町台地各所で
開催しました!





日常記憶地図 -それぞれの生活圏-「上町台地編」

1/26(土)～2/17(日)

期間中常時(WEB企画) mylifemap.web.fc2.com

[企画] サトウアヤコ

上町台地に住む/働く人6人に「よく行くところ、よく歩く道、よく行くエリア」を地図に描いてもらいながら、日常生活や思い出、愛着のある場所についてインタビューをし、webサイトに掲載しました。

- ・天満橋～中大江周辺のオフィス街で飲む、からほり商店街で買い物をし、大阪城公園や難波宮跡で運動を楽しむなど、エリアの使い方が似通っている
- ・台地という起伏のある地形や景観から快適さなどから、自転車で移動するときなどの行動パターンが似てくる
- ・活動エリアや職場、家、実家などの位置関係から生活圏が決まってくる

などがわかってきました。

谷町5丁目で生まれ育った2人の子どもが、20年近くの間差がありながら、地藏盆、生國魂神社の夏祭りに参加し、からほり商店街でお母さんと買い物し、同じスポットで遊んでいたことがわかり、街の持つ力が時間が経っても変わっていないことを感じました。人の日常や記憶を通して街を見る、ということのある程度実現できたと思います。



四天王寺・夕陽丘エリアには、四天王寺参道や寺町の七坂など魅力あるまちなみがたくさんあります。その魅力を地域に住んでいる方に知っていただくために、オープン台地期間中、多くの人が訪れる天王寺区役所1階ロビーでパネル展を開催しました。

協力いただいた大江まちづくり協議会では、現在の魅力的なまちなみだけでなく、こうなったらいいなという理想のまちなみを、イラストや切り絵にしています。今回は原画をお借りして展示させていただきました。石畳になった四天王寺参道や素敵なショップが並ぶ長屋など、眺めているだけで楽しくなってきます。

他に、上町台地マイルドHOPEゾーン協議会の「まちなみ修景補助事業」も紹介しました。

また展示会場で行ったアンケートでは、昔ながらのまちなみを保全することは大切だと思う、昔ながらのまちなみを保全している地域は居住地として魅力的だと感じる、という回答をたくさんいただきました。

1/28(日)～2/15(金) 9:00～17:30 (平日)

天王寺区役所1階ロビー (天王寺区真法院町20-33) 申込不要

[企画] 上町台地マイルドHOPEゾーン協議会
[協力] 大江まちづくり協議会、天王寺区役所

四天王寺・夕陽丘パネル展 -夕陽に映える、歴史のいきづくまちなみ-



三畳模様替えなう。みんなで壁塗りませんか？

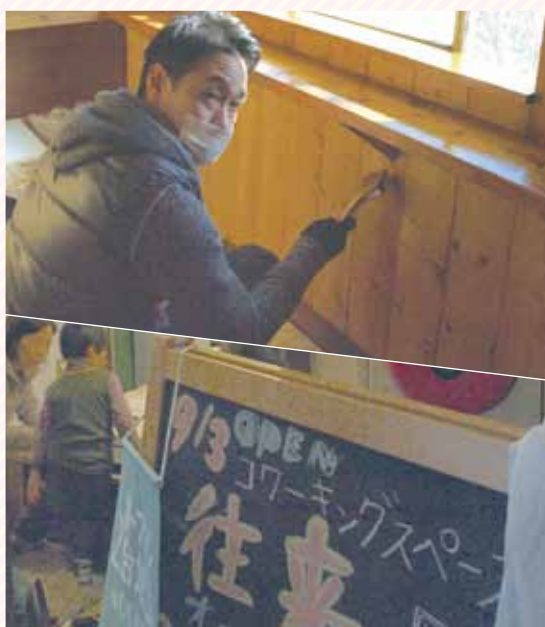
1/26(土) 11:00～17:00

複合文化施設「萌」2階(中央区谷町6-5-26) 申込不要

[企画] からほり倶楽部

空堀地区で様々なまちづくり活動を展開する「からほり倶楽部」の新事務所で壁の塗装をしてもらい、あわせて「からほり倶楽部」について紹介しました。当日、イベントの参加者自体は9人でしたが、オープン台地のパンフレットを片手に、新事務所を覗いて行く方が多くいらっしゃいました。普段できない体験で、参加してくれた子ども達は、「次どこ塗ったらいい?」とハマっている様子でした。イベント終了後は、「見学だけでもしたい」と問い合わせがあり、後日見学をしてもらいました。たくさんの方に興味を持っていただき、イベントをやって良かったなと感じました。

また、メンバー同士1日中一緒にいる事がなかなかないので、「次はあんなことしたいなあ～」「このスペース借りて勉強会しよあ～」など、自然と自分たちの意見を交換する場にもなりました。実際このイベント後、勉強会も開催しました。メンバーにとっても、オープン台地が非常に良い1日になったと感じています。



コワーキングスペースとは、主にフリーランスのWebデザイナーやプログラマーなどが利用している新しいタイプのシェアオフィスです。コワーキングスペース往来では、通常時間単位で利用料が必要ですが、11～22時の11時間を無料開放する、ということで企画の実施をしました。

当日は総勢14名が入り替わり立ち替わりで参加されました。往來の広報で来られた方は「上町台地に興味がある」というよりは、「コワーキングスペース往来に興味があってこの機会に」という方ばかりだったので、結果的にエリア外の方が多く、思いがけず上町台地のことを知るきっかけになったというのは良かったのではないかと思います。

内容としては、参加者が多かったわりに時間が長く分散してしまったという反省もありますが、この機会にじっくり話すことができたり、初対面の参加者同士で名刺交換が進むなど、参加者同士の繋がりを作る接点としては、一定の役割を果たせたのではないかと思います。

1/28(日) 11:00～22:00

コワーキングスペース「往来」(中央区谷町6-5-26複合文化施設「萌」2階) 申込不要

[企画] コワーキングスペース往来

空堀的「働き方」～みんなで仕事をする日





都市の歴史を紡ぐ風呂屋

1/30(金)・2/6(金) 16:00～

大阪府公衆浴場組合事務所 www.osaka268.com (天王寺区生玉町9-3) 定員:各日5名/要申込 [企画] (株)ダン計画研究所

地下鉄谷町九丁目駅から生国魂神社の間に広がるホテル街。その中に、大阪府公衆浴場業生活衛生同業組合事務所:通称「大浴(だいく)会館」があります。きらびやかなホテル群の中にある、この古めかしくも、趣のある建物で座談会を開催しました。

幅広い世代の参加者があり、各々の実体験に基づく、銭湯への思いをつづることができました。当初は、このような銭湯体験をつづる事だけをねらいとして想定していましたが、銭湯経営者の参加もあり、話題は銭湯の経営実態にまで及び、浴場組会に対する話題で締めくくられました。座談会での発言のなかに「地域には銭湯が好きな人が本当にたくさんいるという事を、銭湯経営者あるいは浴場組会はずっと知ってほしい」という、銭湯の運営者側への激励もあり、大阪城と大浴会館を有するこの上町台地こそ「大阪で最も銭湯の似合うまち」にしなければならないという使命感が感じられた事が、この事業を通じた最も大きな成果であったと言えます。



上町台地の北端「北大江地区」を訪ね歩く

2/1(金)・2/2(土) 14:00～16:00

中央区石町、島町ほか北大江地区一帯 定員:各日20名/要申込 [企画] 北大江地区まちづくり実行委員会

見学施設の収容人員などから参加人数を20名で開催しましたが、少人数ゆえに説明者と参加者、参加者と参加者の距離が縮まって、一体感のあるウォーキングツアーとなりました。

有史以来地上であった(海底の時代がないこと)上町台地。その北端に位置する北大江地区は、古墳時代にいわれが遡る巨石「神功皇后の鎮座石」が祀られている坐摩神社(いかすりじんじゃ)が立地し、時代がくだると、熊野街道の起点でもある渡辺津(＝八軒家浜)を玄関口とするゲートシティとしてにぎわいました。そして、豊臣時代には武家屋敷がおかれ、幕末には勤王・討幕両派が活動した旅館・料亭が立地、さらに明治以降は陸軍施設や大阪府庁が設置されました。このように多様な時代の地域資源が重層的に重なっていることを紹介することができ、参加者の満足を得ることができました。

今回の反応をもとに地域としても自らの地域資源の有用性を認識することができたことは有意であったと思います。



「天王寺七坂」として親しまれる七本の坂道(真言坂、源聖寺坂、口縄坂、愛染坂、清水坂、天神坂、逢坂)は、歴史ファンも多く訪れる人気のスポットです。この天王寺七坂の魅力をもっとたくさんの人に知っていただくため、今回はじめてこのイベントを開催しました。

南北約1,500m、東西約300mという広いエリアに散在する七坂と周辺のお寺・神社に、約2,700個ものLEDキャンドルライトを並べました。ライトの設置・回収は、地元町会をはじめとするボランティアスタッフの皆さんと、松屋町筋沿い下寺町のお寺の皆さんに多大なるご協力をいただきました。このイベントにあわせた本堂の特別公開や、行燈の制作・設置など、皆さんのアイデアで大いに盛り上げていただきました。

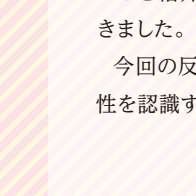
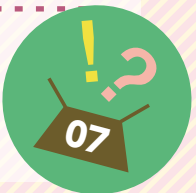
2月初めとしては比較的暖かい気候に恵まれ、3日間で延べ約6,000人ものお客様にお越しいただきました。来年度以降も、より多くの方にお越しいただき、楽しんでいただける恒例イベントとして開催していければと考えております。

2/1(金)・2(土)・3(日) 17:00～20:00

天王寺 七坂～下寺町周辺 申込不要

[企画] 天王寺区役所
[協力] 天王寺七坂周辺寺社ほか

お寺のまちdeキャンドルナイト



上町台地北端の高台に鎮座する和と洋の建物である大阪城天守閣と旧第四師団司令部庁舎。この2つの対称的な外観の建物がほぼ同時期に同じ経緯で作られた兄弟ともいえる存在だということは、あまり知られていません。天守閣より8ヶ月早い昭和6年3月に完成した司令部庁舎は、天守閣と同様に大阪市民の寄付により建築されました。当時、大阪城内に点在していた軍機能をこの庁舎に集約し、大阪城を市民に開放するという行政・市民と軍の考えが一致したことで実現した事業です。

大阪城公園を所管する大阪市ゆとりとみどり振興局からの資料や大阪市立中央図書館のリファレンスサービスを利用し、資料を作成しました。また、国立公文書館に残る司令部に関する公文書も紹介し、当時の時代背景をサイドストーリーとして紹介しました。

スクラッチタイル張りが美しい外壁や屋上からの大阪城天守閣の眺望など見所も多く、参加者には満足していただけたプログラムだと思います。

2/2(土)各60分 ①11:30～ ②13:30～ ③14:30～

旧大阪市立博物館(中央区大阪城1) 定員:各回20名/要申込

[企画] 上町台地マイルドHOPEゾーン協議会
[協力] 大阪市都市整備局ゆとりとみどり振興局

特別公開 旧第四師団司令部庁舎(旧大阪市立博物館)



オープン区役所in天王寺

2/2国・2/3国 15:00~15:45

天王寺区役所(玄関ホール集合)(天王寺区真法院町20-33) 定員:各日25名/要申込

[企画]天王寺区役所

昨年に引き続き開催し、2日間で18名の方にご参加いただきました。日ごろから市民に開かれている区役所ですが、ご来庁の方は窓口利用のみで、庁舎の中にどんなところがあるかわからない方がほとんどです。そこで、区役所のことを知っていただく機会として、職員がガイドとなり皆さんをご案内しました。

現在の天王寺区役所庁舎は平成8年竣工ですが、昭和2年竣工の旧庁舎のクラシカルな面影を残す、歴史と伝統が息づくまち天王寺にふさわしい建物です。当日は、正面玄関の外にある「毘沙門池の碑」の説明に始まり、区民ギャラリーや旧庁舎の区長室を復元した会議室、区長応接室などをご案内しました。最後は、旧庁舎時代を再現した講堂へ向かい、重厚な雰囲気を感じていただきつつ、そのイメージに合うモダンな天井飾りや照明、ステンドグラスを再現した窓などについて解説しました。参加者の皆さんから感嘆の声もあがり、区役所をより身近に感じていただけたと思います。



上町台地のおもしろ写真発表会

2/2国 19:00~21:00

コワーキングスペース「往来」(中央区谷町6-5-26複合文化施設「萌」2階) 定員:10名/要申込

[企画]奥村武資(ハッチポッチの会)

上町台地の「楽しい・面白い」風景や人物、看板などを撮影して持ち寄る「写真発表会」を開催しました。参加者のみなさんには、当日までに自由に上町台地をぶらぶら歩いて撮影していただき、その時に撮影した写真を印刷して持ち寄っていただきました。当日は9人のご参加があり、それぞれに自分の観点で撮影した「上町台地の面白い場所や建物」の写真について発表しました。そこに他の参加者もその場所や建物についての話を重ねていき、撮影者も知らなかったことや案外びっくりするようなことがたくさん話題となって、とても楽しい時間となりました。

説明用に大きな地図を作ったり、最終的に持ち寄った写真を集めてコメント付きのアルバムが作れたらいいなと思いました。



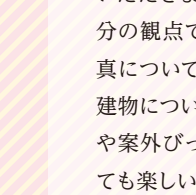
京都の名庭園師「小川治兵衛」作の名庭園『慶沢園』のガイドツアーに加え、園内の茶室「長生庵」の特別に公開しました。庭園散策のあとは、長生庵で抹茶のサービスも行いました。事前申込の定員を1回15名に設定し、当日枠として5名を残しましたが、地元の天王寺区広報などでの呼びかけの効果もあって、いずれもあっという間に埋まってしまいました。お茶室の収容人数が限られているため、抹茶のサービスをしようと思うと1回の定員は20名が限界だったのですが、慶沢園のガイドツアーだけであれば、もう少し参加者を増やしても良かったかなと思いました。次の機会があれば、庭園ガイドツアーのみの受付をするのもありかなと思いました。

2/3国 @10:30~ @13:30

慶沢園 長生庵(天王寺公園内) 定員:各回20名/要申込

[企画]なにわ人形芝居フェスティバル
[協力]天王寺動植物公園事務所

慶沢園ガイドツアー&お薄と長生庵公開



大阪の陣からまもなく400年。平成の真田十勇士が誕生し、今回が初陣イベントとなりました。真田十勇士による侍・忍者ショーのあと、希望者には侍・忍者の体験に挑戦していただきました。衣装を着て、効果音付きで、刀を振った子どもたちはすっかり侍・忍者気分ひたっていました。

天気にも恵まれ、事前予約は受け付けませんでしたが、定員を上回る子どもたちが参加してくれ、とても喜んでくれたので、一安心しました。次回は事前予約制にして、当日参加も受け付けるような形にすれば、こちらも色々準備ができるなと思いました。子どもだけでなく、保護者も一緒に体験してもらい、家に帰ってからも親子間のコミュニケーションに役立てたら幸いです。

2/3国各60分 @12:00~ @14:00~

茶白山(天王寺公園内) 申込不要(体験は当日受付で各回10名)

[企画](株)日本殺陣道協会
[協力] ひまわりカンパニー
天王寺動植物公園事務所

ちびっこ侍・忍者体験





上町台地の「生活の柄3」長屋独立国家の行方

2/3回 13:00~20:00 2/4回・2/5回・2/7回 19:00~21:00

苦楽庵 (中央区瓦屋町1-6-4) 申込不要

[企画] 小辻昌平 (直木三十五記念館)

今回で3回目になるオープン台地での自宅の公開ですが、今回はオープン台地の開催期間が長いことにあわせて今までは実施していなかった平日夜間の自宅公開を実施しました。

従来は自宅公開時間中に他のツアーやイベントとの兼ね合いで訪れる方が制約されることが懸念されていましたが、今回はその意味では時間制約的な競合はありませんでしたが、やはり訪問者は限定的でありました。また立地が路地の奥とわかりにくい点を意図的にそのままにして、余程の目的意識をもって訪問しようとしなければ来られない設定になっていましたので、残念ながらご訪問までに至らなかった参加者がいたのではないかと反省しております。

その反面、昨年のクローズングイベントにたまたま参加され、今年の開催に際して絶対にここに来たいと予定されて来られた方もいたことをご報告しておきます。



オープン台地の期間延長にともない、これまでの2日開催から1週間に變更し、会場も3ヵ所で開催しました

古写真を巡る歩くフリーガイドツアーは、比較的若者層に好評だったと思われます。一方、展示は40歳代以上の中高年層の参加者が多く、往時を振り返り地理や建物、自然などの記憶探しや、大阪の歴史への関心から見聞を広めたい、と来られた方が多かったようです。あえて解説は示さず、裏面に所在マップを記し、古写真そのものへ興味を集中させるができたと思います。さらに撮影年代も調べ、付加していく必要を感じます。また、古写真の新規収集は、3枚でした。展示とツアーが表立っていて、収集についてあまり伝わっていませんでした。今後は、振興町会や神社仏閣などへのPRが必要だと思います。

往時のまち・生活の記憶や写真の感想を「まちの記憶ノート」に書いていただきました。

上町台地の歴史や暮らしの今昔未来を参加者同士が語り合う場を設けたいと思います。

①2/4回~8回

ISまちライブラリー・峯風庵(都市創 中大江)
(中央区内平野町2-1-2 アイエスビル3階)

②2/9回~10回

高津宮(中央区高津1-1-29)
10:00~17:00 申込不要

[企画] 住みよいまち&絆研究所

上町台地タイムトリップ



上町台地オープンフェスタ! in 天王寺動物園

2/3回 ①講演 13:30~14:30 ②ゆるきゃら®ショー 14:30~

天王寺動物園内 レクチャーラーム
/定員:60名(要申込)

野外ステージ
/定員:200名(申込不要)

[企画] 天王寺動物園事務所

オープニングに上町台地に関する講話として「戦国時代から江戸時代にかけての上町台地の歴史について」というタイトルで大阪歴史博物館大澤研一学芸員にお話いただきました。隣接する天王寺公園内の茶臼山が大坂の陣の本陣跡ということで特にシルバー層の来園者に興味深く聞いていただきました。

その後、天王寺動物園内の野外ステージにてゆるキャラ®ショーなどを実施しました。ゆるキャラ®ショーの行われた野外ステージは子どもたちで満席でした。上町台地に関連するゆるキャラ®はもとより、その他の地域からもたくさんのゆるキャラ®が集合しました。



1回目を「住宅」、2回目を「食」と、テーマをわけて2回実施しました。参加者は、上町台地に住む人、住んでみたいという人、昔住んでいた人など、様々な人が集まってくださいました。特に2回目は、大学4年生から、戦争を経験している高齢の方まで幅広い年代の顔ぶれになりました。

1回目は、長屋の話題が中心で、「どうやって物件探したんですか?」など長屋に住んでみたい人からの質問に実際長屋に暮らす人が答えるという展開に。2回目は、白地図を配布し、お店情報やまちの歴史などをみんなで話し合いながら自分の地図にプロットし、最終的に自分の「食MAP」を作ってお土産にしてもらいました。

この2回の座談会を通じて、改めてこの上町台地周辺は魅力的なまちであることと、そこに住む人の面白さや、こうもまちのことに思い入れのある人が多いまちは他にあるだろうか!と感じました。今回は2回の限定的な開催でしたが、このオープン台地とはまた別に開催し続けたいと思いました。

【特設Webサイト】<http://daichinaikai.jimdo.com/>

2/4回・15回 19:00~21:00 定員:各日10名/要申込 Eメールにて

コワーキングスペース「往来」(中央区谷町6-5-26複合文化施設「萌」2階)

[企画] 梅山晃佑

町内会ならぬ台地内会!?! 上町台地に住みだした人による公開「暮らし事情」座談会





木の都 タニキュウエアポケット

2/9 国 13:00~15:00

地下鉄谷町九丁目駅中改札出口「谷町九くん」前集合 定員:15名/要申込 [企画] 釜中悠至

「大阪は木のない都だといはれてゐるが、しかし私の幼時の記憶は不思議に木と結びついてゐる。」上町台地が生んだ文豪、織田作之助「木の都」の書き出しです。この企画では氏も愛した「木の都」谷町九丁目に、エアポケットのように隠れてしまった緑地を探しにでました。

氏の幼少時代からも月日が経ち、都市部で木や自然を感じる事が少なくなっています。都市の景観や環境改善の装置、文化、そして信仰の対象としての「木」が果たす役割を上町台地、生國魂神社を中心とした谷町九丁目界隈で再考することが企画の目的です。とはいえ今回のツアーだけでも、鎮守の杜や斜面緑地、マンションの屋上庭園など、「木」とは一言でくくるには、あまりに多くの面をもっています。その「木」が生息する意味や歴史的背景などを踏まえながら見て、考えることで、上町台地への愛着、関心をもってもらいたいと考えました。

また近年問題になっている日本の林産地の問題も考える機会となり、消費地としての側面をもつ都市部から荒廃が進む林産地へ関心がでることも期待しています。



2001年から應典院で開催されてきた「詩の学校」、今回初めて隣の浄土宗大蓮寺で開催しました。前半は、秋田光彦住職と「詩の学校」主催者であり詩人の上田假奈代さんの対談が行われました。「都市の霊界」という威風を受け継ぐ下寺町の風情から仏教的死生観にまつわる話題へとつながる中で、参加者から「浄土は魂のふるさと」という声があり、一同共感する場面もありました。後半の詩作と朗読では、参加者がペアになり、互いのストーリーを共有しながら、言葉を重ね、最後にそれぞれの詩が披露されました。自分自身と出会う場として、また互いに痛みや想いを吐露し、共有する暖かい場となりました。会場が上町台地に位置し、大阪有数の寺町という歴史的・地理的背景から、詩作もおのずと「生と死」や「死者との対話」というテーマにつながっていったようでした。

オープン台地での企画がさらに、地域の方々や應典院に集う若い劇団員の方々に引き継がれ、新しい関係性を生み出すことを期待しています。

2/13 国 19:00~21:30

大蓮寺本堂(天王寺区下寺町1-1-30) 定員:15名/要申込 Eメールまたは電話で下記まで。 [企画] 應典院寺町倶楽部 [協力] NPO法人こえところとことばの部屋 (ココルーム)

poemschool@kanayo-net.com ☎06-6636-1612(ココルーム)

詩の学校 特別企画 上町台地と寺町編



RE: 赤バス ～停留所見立て遊び計画～

2/10 国・2/11 国 13:00~16:00

地下鉄四天王寺前夕陽ヶ丘駅5番出口前集合 定員:各日15名/要申込 [企画] むつとし(まちらぼ代表)

上町台地に住んでいても乗ったことはないという憧れ(?)の赤バスに乗ることができて、それだけですでに満足です、という声が聴かれたほど好評な企画でした。赤バス(天王寺ループ)に乗り、降りた停留所付近を散策して名所を見つけ出し、勝手に停留所に名前を付けてしまおうという企画です。なかなか頭の柔軟さが問われることで、頭がかたくなっている人ほど名所探しとネーミングに四苦八苦します。それをバス停に集まってそれぞれにプレゼンテーションをします。今まで見ていなかったまちの新しい一面が浮き彫りになりましたが、どうしても笑いを狙って自然と大喜利大会のようになっていったのは大阪人らしかったように思います。



会場を急きょ空堀長屋のにぎわい堂に変更して開催しました。事前予約のお客様はもちろん、当日チラシを見てご参加いただいた方も多数ありました。

【木工ワークショップ】対話をしながらの工作作業はとても有意義でした。3歳の子どもたちも一生懸命木を削り、保護者の方と一緒に楽しくていただけました。今回はヤスリで削るという単純な作業のみだったので、もっと創作意欲をかき立てるような企画を今後練っていこうと思います。

【編物ワークショップ】編物は比較的作業時間がかかるため、参加者の方とゆったりとお話をできました。何人かから「普段から定期的に行えば参加します」と言っていたき、一過性のイベントでなく「あの地域は、常に面白いことをやっていて気軽に参加できる」という街になれば、普段から賑わうのではと感じました。少し残念だったのは、オープン台地経由の参加者が少なかったことです。他にない良い企画なので、多くの方に知っていただきたいと思います。

2/16 国・17 国 10:00~17:00

空堀商店街東側 路地内長屋 要申込/Eメールにて。workwork@yoridono.com [企画] work+work

大正長屋のコタツと土間で、井戸はないけど 井戸端ワークショップ





〈おもいで〉モノ語り あなたの「幼稚園の思い出」を聴かせてください。

2/16 国 13:00~14:30

パドマ幼稚園（天王寺区下寺町1-1-30）定員：20名/要申込

〔企画〕パドマ幼稚園

上町台地の寺町界隈にあるパドマ幼稚園にて、幼稚園時代の思い出を語り合う企画。実際の保育室を会場に幼稚園時代の思い出を語り合いました。まずは、園舎見学。幼稚園には、保育室以外にも音楽室、体育館、図書室など色々な施設があります。その後、幼稚園の職員に、幼稚園の先生になった理由や実際になってみての感想などのインタビューがありました。そして参加者から幼稚園時代の思い出を発表してもらいました。幼稚園時代に作った作品やアルバムといった「モノ」があったり、先生や友だちとの思い出、中には園歌を今でも覚えている方もおられました。参加者4名の内2名がこのパドマ幼稚園卒ということもあり、パドマ幼稚園の今昔比較もありました。施設は変わっても「幼稚園が変わらずここにある」「ふるさと」であるという感想もあり、幼稚園は心のよりどころだと思いました。幼稚園を卒園して10年後、20年後、幼少時代を思い出すときに出てくるのが幼稚園ではないでしょうか。



大阪市中央区法円坂に広がる難波宮史跡公園は、古い歴史をもつ古代都市大阪の象徴であり、貴重な遺産として存在します。当日は雪もちらつく、不安定な天候にもかかわらず、ごみ拾いや難波宮ミニ講座、大阪歴史博物館見学など熱心に取り組んでいただきました。大阪文化財研究所所長、長山雅一先生による説明は解りやすく、難波宮の知識が深まり、大阪歴史博物館での「大阪市指定文化財展」解説では、大阪に深く根付く文化があることを改めて知ることができました。

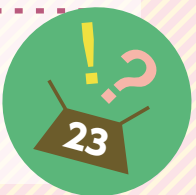
今後も継続して行っていきたいと考えています。反省点は参加者が少なかったことで、ネット申込みをされない方々のために、今後は独自のチラシを作り広報に力を入れていきたいと思っています。

2/16 国 13:30~

難波宮史跡公園（中央区法円坂1）定員：20名/要申込
無料のイベントですが、博物館の入館料（540円）が必要となります。

〔企画〕NPO（市民団体）OSAKAゆめネット

もっと知りたい難波宮ツアー ～クリーン大作戦と大阪歴史博物館見学～



「まちライブラリー」の集い

2/16 国 13:30~16:00

ISまちライブラリー（中央区内平野町2-1-2 アイエスビル3階）定員：20名/要申込

〔企画〕ISまちライブラリー

まちライブラリーとは、カフェやギャラリー、オフィスや住宅の一角に本棚を置き、そこにメッセージつきの本を持ち寄り交換し合う、人と人との出会いを紡ぐ活動です。この日は、「大阪に関する本」を持参いただいて、本紹介や上町台地を楽しくする語り合いをしました。

前半は「大阪に関する本」を参加者の皆さんに持ってきていただき、その紹介をしていただくという企画でした。歴史・文化・言葉など幅広いジャンルの本が集まり、それぞれ紹介していただく間も笑いが絶えない楽しいイベントとなりました。

後半は、おくむらたけすけ氏による「楽しい大阪弁いろいろ」というトークイベントでした。

今まで日々の生活の中で何気に耳にしていた言葉であっても、ていねいにお話しされている内容から、大変奥深いものを感じました。



24 普段大学の中でしか発表をすることがないので、今回のように全く知らない人もいる前での発表は、私自身大変貴重な経験になりました。発表後に、「空掘ってどんどこかもっと教えて」とか「発表を聞いて行きたくなりました」という言葉をいただき、大変うれしく感じました。自分の研究を、大学や自分の中だけにとどめず、つたない発表でもいろいろな方に聞いていただくことで、研究の対象について興味を持ってもらえたり、聞いてくださった方の感想が今後の活動や考え方に活かせると感じました。



25 長らく関わってきた活動であり、修士論文のテーマでもある「からほりまちアート」について発表させていただきました。地域資源を生かしたまちづくり活動のひとつの手段として「アート」を利用したまちづくり活動があると考え、からほりまちアートの活動の検証を行うために、これまで関わった人の多くにヒアリングを行い、分析の対象としています。内容としてはまだ十分なものとはいえませんが、多くの方のご意見、感想を頂き今後研究を精査していくに当たって非常に参考になりました。

2/17 国 24 17:00~17:30 [発表] 藤野宏美 25 17:30~18:00 [発表] 渡辺尚見 高津宮（中央区高津1-1-29）定員：30名/要申込

大阪市中央区空堀地区におけるイベントからみた
新規流入者と地元の人々との関係



からほりまちアートの研究



27

からほりごはん ～からほり井を作ろう！～

1/26日 空堀商店街 ⑩10:30～ ⑪14:00～
地下鉄松屋町駅3番出口前集合 定員:⑩5名 ⑪10名 /要申込
参加費:500円(別途お買い物実費)
[主催] からほりごはん
大阪商工会議所



空堀商店街は、古くから商売をされている店舗が多く立地していますが、今回は主催者から商店街の特徴などをレクチャーした後、商店街を散策。特徴あるお店の紹介やお茶の勉強などをしてもらいながら商店街をめぐるしました。その後、自由にお買い物していただき、訪問看護ステーションとして使われている長屋を会場に思い思いの井づくりをしました。みなさん色々な工夫をされて面白い井ができました！少人数だったこともあり、アットホームな雰囲気です。楽しい時間を過ごすことができました。

28

上町台地の神社仏閣を語る

1/26日 14:00～17:00
生國魂神社 参集殿(天王寺区生玉町13-9)
定員:150名/要申込 受講料:1,000円



ナカノシマ大学との連携企画。『大阪の神さん仏さん』の著者コンビ、高島幸次(大阪大学・大阪天満宮文化研究所)と釈徹宗(相愛大学・浄土真宗本願寺派如来寺)、ゲストに中村文隆(生國魂神社)、坂本峰徳(四天王寺)が大阪の聖地が並ぶ「上町台地」について語り合いました。150名の参加者で会場内は満席。普段はさけない神社仏閣の興味深い話もあり、歴史好きな方々が熱く4人の話に聞き入りました。最後はこの日始まるオープン台地の魅力を紹介し、来年のオープン台地に注文までつけて締めくくりました。

31

大阪あるこ①～空堀商店街を遊ぼう

1/26日 14:30～16:30
地下鉄松屋町駅3番出口前集合
定員:10名/要申込 参加費:2,000円(お茶代)
[主催] 大阪商工会議所
[協力] からほりごはん、CASEまちづくり研究所



「ほっこり長屋でティータイム」コース

32

大阪あるこ②～空堀商店街を遊ぼう

1/26日 17:30～19:30
地下鉄松屋町駅3番出口前集合
定員:10名/要申込 参加費:3,000円
(各店1杯目+お通し代。追加注文は別途精算)
[主催] 大阪商工会議所
[協力] からほりごはん、CASEまちづくり研究所



「酒処長屋千鳥足」コース

29

第20回記念 うえまちコンサート
～山本能楽堂でバロック音楽～

1/26日 14:00～
山本能楽堂(中央区徳井町1-3-6) 定員:200名/要申込
入場料:S席3,000円、A席2,500円
[主催] うえまちコンサート運営委員会 [共催] 日本テレマン協会
[協力] 山本能楽堂 [協賛] (株)舞昆のこうはら



能舞台に緋毛氈、タキシードに白足袋姿でのチェンバロやヴァイオリン、リユート等の演奏風景は、毎年1月に行う山本能楽堂でのコンサートではおなじみですが、毎回観客に新鮮な印象を与えています。プロ集団(日本テレマン協会)によるハイクオリティな演奏は、新装された山本能楽堂で観客を魅了し、上町台地に位置する能楽堂の新たな魅力再発見となりました。上町台地の地域力向上と魅力再発見のため、これ以降もNPO法人まちすまいづくりが「うえまちコンサート」を継続開催することが決定しています。

30

ギャラリー茶論(サロン)がお気に入り♪

1/26日 ⑩14:00～ ⑪16:00～
マルゼンボタンギャラリー2Fサロン(中央区島町1-1-2)
定員:各回10名/要申込 参加費:2,000円(煎茶&お菓子)
[主催] 一茶庵 × マルゼンボタンギャラリー



かつて大坂の町人が街のサロンに集い、煎茶を嗜みながら芸術に親しんだように、1枚の絵を前に、地域・年齢とも様々な参加者が語り合いました。多様な人たちが語り合う場を創り出したのは興味深い機会となりました。一茶庵の次世代の粹央さんとのコラボレーションで、弊社にとっても一茶庵にとっても、いつもとは違う試みで楽しい経験になりました。地域の方や弊社のお客様で、日頃現代アートや煎茶文化に馴染みのない方も多く、少し気軽に話をできる雰囲気になり、くかったかもしれません。今後の検討課題です。

33

大阪自転車スタンプラリー in 上町台地

1/27日 各120分 ⑩10:00～ ⑪13:00～
うえまち貸自転車集合(中央区谷町六丁目17-43)
定員:各回10名/要申込 参加費:500円(資料、保険代)
[主催] 自転車文化タウンづくりの会



34

ワン・ワールド・フェスティバル

2/2日・3日 10:00～17:00
大阪国際交流センター(天王寺区上本町8-2-6)
申込不要・参加無料
[主催] ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会



今年は「共に生きる世界をつくるために一人ひとりができること」をテーマに開催し、会場の大阪国際交流センターには2日間で約16,500人の方にご来場いただきました。活動紹介展や民族料理模擬店出展など参加団体は延べ180団体にのぼり、ご来場の方にはシンポジウム、セミナー・ワークショップ、体験コーナーなど、様々なプログラムを通して地球規模の課題についての理解を深めていただきました。



上町台地と空堀商店街を巡るまち歩きツアー

2/2日 10:00～13:00
大阪城大手門・大手前芝生広場
 定員: 10名/要申込
 参加費: 1,000円(お土産代含む)
 [主催] 大阪商工会議所

※本プログラムは大阪商工会議所「なにわなんでも大阪検定連携事業 大阪あるこ〜大阪検定公式テキスト(遠足)の現場を訪ねて<第2弾>」との合同企画です。



戦災を免れ、古い街並みが多数残されている空堀商店街および上町台地にある歴史的名所を大阪検定1級合格者が案内しながら散策しました。大阪城、越中井、聖マリア大聖堂、玉造稻荷神社、三光神社など上町台地にある史跡や建築物を巡りました。まち歩き最後には、空堀商店街に立地する「こんぶ土居」に立ち寄り、店主から昆布の見分け方やだしの取り方など大阪の食文化に関する話をお聞きました。短時間で効率よく多くの旧蹟を巡ることができ、参加者の満足度も高かったです。



煎茶のサロン

2/2日・3日 各日2回・各90分 @11:00～ @14:00～
一茶庵 宗家(中央区大手通1-1-1)
 定員: 各回15名/要申込 参加費: 3,500円(お茶、お菓子代含む)

[主催] 一茶庵 宗家



今回は2回目の参加で、去年参加された多くの方は、1回きりの体験としてこの会にいられていました。私どものような文化は、定着を大切にします。上町台地の文化は、「マイルド(ソフト)」です。歴史建築物など「ハード」な文化は、1回の感動体験で得られるものも大きいでしょう。しかし、人と人の交わりや抽象概念が中心のマイルドな文化は、そこにある程度の時間(回数)身をおかないとその文化が身にしみてこないと思います。この会をきっかけに、1回の体験だけで終わらないような工夫が必要だと感じています。

聖徳太子がおよそ千四百年前に建立した日本仏教最初の官寺「四天王寺」の起源や歴史についてご紹介しました。

テーマを『世界とつながる四天王寺ツアー』としたことで、中国や韓国の方の参加もあり、時代性をもつことができたのではないかと思います。ツアーアシスタントとして留学生が参加したことで、日本人の方々に四天王寺が大阪の国際交流の始まりの場所であったことや、現在の外国人在住者についても伝えさせていただきました。この地域についてより深く理解いただき、今後も訪ねていただける機会になりましたら幸いです。



2/9日・16日 13:30～15:30
四天王寺(天王寺区四天王寺1-1-18)
 定員: 各日20名/要申込 拝観料: 600円

[主催] 滝北由子(GAIA 国際交流倶楽部)
 [協力] 和宗総本山四天王寺



世界とつながる四天王寺ツアー

玉造の非公式キャラクターである“とらとうちゃん”が街で道案内をするという企画です。玉造に来たけどおいしいランチのお店がわからない、はじめて玉造に来てどこに行けばいいか迷っている方を道案内して、少しでも玉造を知って、好きになってもらえたのではないかと思います。事前告知などを見てわざわざとらとうちゃんに会いに来てくれた方などもありましたが、ほとんど街ゆく人が玉造住民で、道案内する機会が少なかったのは反省点。次回は外国人観光客など、観光目的の方を巻き込めるよう考えていきたいです。



2/16日 11:00～18:00
玉造周辺 申込不要 案内料: 300円
 (道案内の証として特製缶バッチプレゼント) WEBサイト[www.tora-tochan.net]

[主催] とらとうちゃん
 [協力] TMJ(玉造街おこし実行委員会)



とらとうちゃんの道案内しよっ!

節分だよ! 招福ビル開き & “お豆”な屋台

2/3日 10:00～16:00
山内(空庭)ビルとその周辺(中央区常盤町1丁目)
 各料理や体験料は有料

[主催] 谷町空庭
 [協力] 谷四グリグリ(谷四green good link)



昨年企画した「ビル開き」を今年は発展させて行いました。周辺ビルの敷地を借り、地元飲食店に屋台をだしていただき、場を盛り上げてもらいました。また、ちょうど「節分」の日だったので、豆や招福をテーマに福を持って帰れるような企画を用意しました。都市菜園の見学やカフェスペース開放、4階シェアオフィスでは入居者によるオフィス案内と座談会、2階では子どもも楽しめるワークショップ、1階ではまちと農業をつなぐ産直市と餅つきをしました。来訪者それぞれの興味関心のもと、楽しんでもらえたと思います。

イマジネーション・ツーリズム

上町台地を想像観光する ～見えないものを見る～

2/3日 10:00～13:00
地下鉄四天王寺前・夕陽ヶ丘駅5番出口前集合
 定員: 20名/要申込 参加費: 1,000円(資料代)

[主催] 想像観光(イマジネーション・ツーリズム)実行委員会
 [協力] まちらぼ



大阪の歴史・史跡・名所の宝庫、上町台地。ところが戦災などでそのほとんどが消滅し、一見そのようなまちの文化は見えなくなっています。しかし、丹念に歩き、歴史の教科書(正史)には掲載されない、まちの人々がおもしろおかしく語るカオスの物語、嘘のような伝説や伝承など(稗史)を語ることで、参加者にかつてあった上町台地のひと、こと、ものを想像させて体感するツアーを実施しました。英雄・悪漢の歴史でなく、市井のポリフォニックな人生の錯綜こそ、上町台地最大の魅力であることが伝わったと思います。



クロージングトーク

2/17日 18:30～20:00
高津宮(中央区高津1-1-29) 定員: 50名/要申込

[出演] アサダワタル(日常編集家・事編kotoami主宰)
 嶋田 奈穂子(京都大学 東南アジア研究所 特認研究員)
 (NPO法人 平和環境もやいネット 副事務局長)
 釜中 悠至(進行)

[企画] 上町台地マイルドHOPEゾーン協議会

2011年1月に開催されたオープン台地vol.1の総合プロデューサーであるアサダワタル氏と、滋賀や京都を中心に地域やまちづくりに関わる研究・活動の実績を持つ嶋田奈穂子氏をゲストに迎え、今回のオープン台地23日間を振り返りました。各プログラム企画者をはじめ、イベント参加者や上町台地マイルドHOPEゾーン協議会のメンバーも集まり、40名を超すにぎやかな会でオープン台地vol.3が締めくくられました。




クロージングトーク アサダワタル×嶋田奈穂子×釜中悠至

ゲストスピーカー紹介



嶋田奈穂子

釜中悠至(進行)



アサダワタル

釜中悠至(以下、釜) オープン台地も23日の開催期間をこのクロージングトークでいよいよ幕を閉じるわけですが、40のうちどのプログラムが印象に残っていますか。

オープン台地のおもしろさ

アサダワタル(以下、ア) 僕が気になったのは、〔05都市の歴史を紡ぐ風呂屋〕です。このプログラムの会場となった公衆浴場組合事務所に行くことは普通ないですよね。観光的な所に行くのではなく、こういう所に切り込んだ時に切り込まれた側がどういう風に開いていくのか、個人的に興味があります。プログラムの企画者と参加者が記憶などを共有すると同時に、その時に訪ねていく先の人も自分たちが予想していないところで関わられているという状況になりますよね。公衆浴場組合事務所も普段こういう企画を持ち込まれることは多くないでしょう。プログラムの企画者や参加者だけでなく、まちのいろんな人がオープン台地を通じて、普段自分たちが忙しくてなかなか意識を持ってないところに、その期間ちょっと意識が開いていくことがすごく面白いと思ったんです。

釜 さすが「住み開き」提唱者ならではの視点ですね。ちなみにこのプログラムの企画者の森川さんのご実家は淡路で銭湯をされていて、そういった背景から生まれたプログラムです。嶋田さんはいろいろと海外にも行かれています、そのような視点から見ていかがですか？

嶋田奈穂子(以下、嶋) 〔09世界とつながる四天王寺ツアー〕に参加して、熊野古道の起点は実は上町台地なのに世界遺産には入っていないという話を聞きました。カンボジアにはアンコールワットがありますが、アンコールワットが世界遺産になってから見たくなくなったという方が結構おられるんです。それはアンコールワットはカンボジアの人にとって、もちろん崇拜の対象ですが、それ以前に生活の場であって、そこで洗濯物を干したり子どもが駆け回っ

て遊んだりもする場でした。それが世界遺産になった途端、柵が張られて仰々しいものになってしまったからです。上町台地は熊野古道があるにもかかわらず世界遺産から外れてしまったということは、これは逆手に取って上町台地の生活と隣り合った文化財のあり方、素晴らしさが守られたと考えられるのではと思った次第です。

大阪・上町台地のオリジナリティ

嶋 1つ痛感したことは、上町台地は文化財が人の生活の真隣にあるんだな、ということです。「これが文化財」と名札を付けられ飾り立てられているのではなく、その脇をおっちゃんも自転車で通り抜けていくのが素敵だと思いました。

釜 第1回目のオープン台地の副題は「生活鑑賞ツアーコレクション」で、上町台地の「住む・働く・楽しむ」という魅力的な生活を発信することをコンセプトにしたイベントなんです。私もここに住んでいて、奈良や京都と違って生活に密着した場だと思います。嶋田さんは滋賀県から来られて、大阪ならではと思う点はありますか？

嶋 皆さんのお話を聞いて「あれも行けばよかった」というものばかりなんです。私がそう思う理由は、皆さん本気でプログラムを企画されている中で「おれらが楽しかったらええわな!」というどこか「遊び」というか、緩やかな部分があると思うんです。だからこそ参加者も入っていきやすいと思うんですね。最初からイベントの効果まで見えてしまっていると、ルールの上で走るだけになってしまうんですが、参加者も「自分たちも面白くできるんだ」という「幅」が大阪的だと感じます。

企画の集合体「オープン台地」

釜 見てもらえばわかると思うんですが、1つ1つのイベントの参加者の定員は結構少ないんですね。上町台地というすごく広いエリアのなか、その場所場所の生活が垣間見えるような、あまり大きくない、目が届き、話ができる規模のツアーがたくさんあるのが面白いと思っています。そういった観点からアサダさんは全体を見て気になったことなどありましたか？

ア オープン台地はいろいろなプログラムがひとつの大きな企画に入り込んでいるという感じがします。1回目に関わらせてもらった時からですが、多様なプログラムがある中から「これに行こう」と1つのプログラムに入り込んだ

時、オープン台地全体の背景があることを忘れずに参加できるかとか、参加した時に他のプログラムの全く違う文脈にも関心を寄せられるかだとか、そこに行くことで結果的にいろんな文脈を知ることができるかとか、「住む・働く・楽しむ」といったものが帯で交わっていくような考え方がどこで作れるのかなと、すごく考えています。それぞれの関心を持っている参加者同士が混じっていく状況を生み出すために、各プログラムと平行してそれらをつなぐようなプログラムが何かあってもいいのかなと思います。

オープン台地のこれからを思う

釜 最後に、個別のプログラムやオープン台地全体で「こんなことをしたらいいんじゃないか」とか、「継続してこのままでもいいんじゃないか」とか、今回見ていただいた中でのご意見を、お2人に一言ずついただきたいと思います。

嶋 イベントってだいたい終わってしまつてうとそこには行かなくなるんですが、上町台地にはちょこちょこ遊びに来ようと思いました。それだけリアルな人との交流があったし、「おもしろいものをもっと見てやろう」という気持ちになりました。ただ、なんせ滋賀から来ていますので、もう少し時間をばらしてもらって1日で多くのプログラムに行けるようになればと思います。

ア 僕が思ったことは、皆さんはオープン台地の期間以外にもそれぞれのエリアで活動されているわけじゃないですか。それがオープン台地というイベントになった時に集まるとこれだけの数になるわけです。そう考えると、同窓会じゃないですけど、それぞれ活動をやっている人たちが一気に共有する、お互いの知恵を学び合う、お互いの人脈を繋ぎ合う、年に1回の機会という形もありだなと思いました。オープン台地がそんな風に機能することで、仮にオープン台地自体が何か満たされる場として機能しなくても、1年後にまたオープン台地で一緒にやることに向かってそれぞれのエリアでの活動がより充実したものになるのであれば、オープン台地の元々目指していた「住む・働く・楽しむ」といった文脈はより日常的に果たせていけるのでないかと思います。

釜 ありがとうございます。それではこれでクロージングトークを終了とさせていただきます。皆さん、ありがとうございます。



プログラムはそれぞれの開催エリアによって4色に色分けしています。また、カレンダーとマップが連動した「オープン台地カレンダーマップ」もWEBで公開中!

<http://uemachi-hope.net/open-daichi/calmap.html>

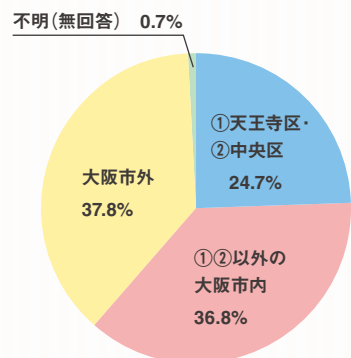
- 上町台地北部エリア
(天満橋～谷町四丁目、大阪城)
- 上町台地中部エリア
(谷町四～九丁目、空堀、玉造)
- 上町台地南部エリア
(谷町九丁目～天王寺、四天王寺)
- 広域エリア



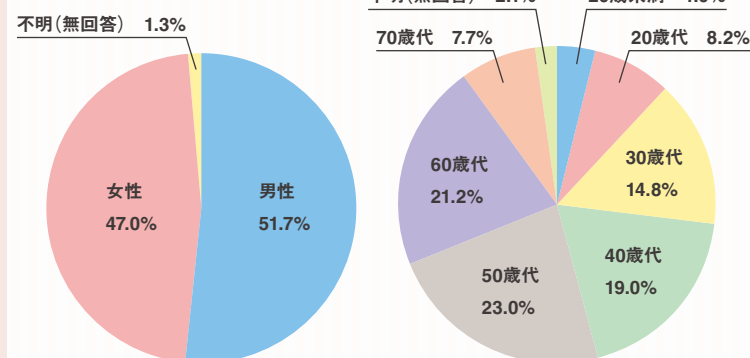
オープン台地vol.3特設
WEBサイトからジャンプ!

アンケート集計結果（アンケート総数600名）

設問1 現在のお住まいの地域



設問2 年齢層・性別について



設問6 上町台地の魅力

<まちなみ・雰囲気>

- ・都心にありながら昔の風情が色濃く残っていて素晴らしいところ
- ・閑静静かな街並み
- ・家、街並、古いまちや石畳が残っているところ
- ・上質な大阪が残っているところ
- ・いろいろごちゃごちゃあるところ
- ・自由な雰囲気
- ・都心のオアシス的な落ち着き

<新旧の混在・多様性>

- ・古さと新しさが混在しているところ
- ・都会とレトロな空間が同居しているところ
- ・ショッピング街などの都会的なところとお寺神社など歴史的な建物などが混在しているところ
- ・古いまちなみがあるかと思えばビル群があったりすること
- ・歴史を残しつつ町が近代化しているところ
- ・都会にいながら懐かしい風景や商店街がある

<生活>

- ・人が多い
- ・交通や買い物にも便利
- ・職住近接
- ・生まれ育ったところゆえの愛着
- ・文教地区
- ・人間関係、コミュニティ
- ・利便性だけではない、居心地の良さがあるところ
- ・おいしいのに未知のお店が多いこと

<坂・地形>

- ・坂が多い
- ・七坂がよい
- ・天王寺七坂など高台の地形
- ・高低差

<場所>

- ・カフェなどすてきな店
- ・落ち着いた雰囲気が好き
- ・道がきれい
- ・すばらしい公園

<史跡・遺産>

- ・古いお寺や坂道
- ・大阪城城下町と歴史
- ・歴史的遺産が豊富
- ・狭い範囲に多くの旧跡が集まっている

<人・活動>

- ・人の温かさ、下町の人情
- ・地域に小イベントが多い
- ・まちづくりしている人間がたくさんいる
- ・寺なども参加した催し物があること
- ・古さと新しさと調和した催しがいい

<神社仏閣>

- ・神社、仏閣
- ・公園や寺社の存在
- ・寺町
- ・お寺と七坂高台のたたずまい
- ・坂道

<建物>

- ・大阪城
- ・四天王寺
- その他

<自然>

- ・緑、緑地が多い
- その他

<歴史・文化>

- ・歴史的に掘り下げて見ていくことができる
- ・文化の多様性と重層性
- ・明治時代以前の政治・文化の起因の基である
- ・古くから人の住むまち
- ・文化が成熟しているところ
- ・街をあげて芸能を高めていく意識が住民にあると思います

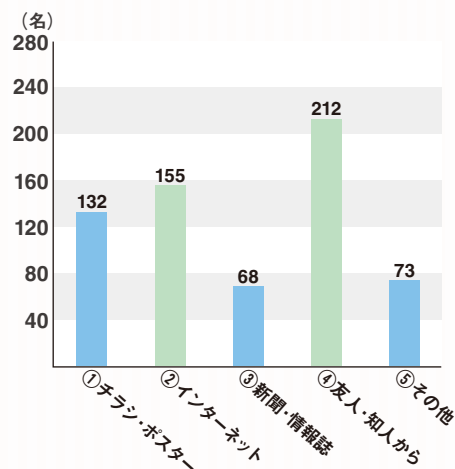
<特定のエリア>

- ・夕陽丘からのながめ
- ・からぼり商店街、空堀
- ・台地から見る夕日

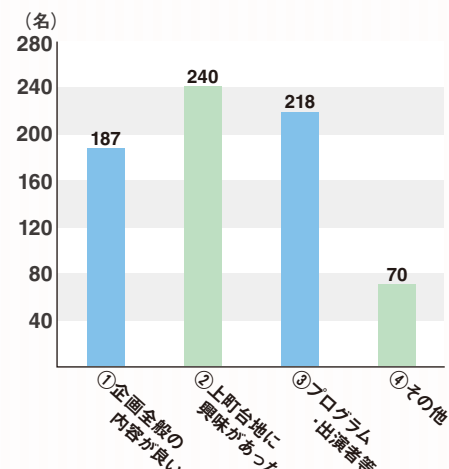
<その他>

- ・大阪の中心
- ・大阪の故郷だから
- ・人、まちの多様性
- ・色々なまち歩きネタが豊富
- ・茶道、食
- ・歩けば歩く度に何か気付くことがあったり、又歩きたいと思わせる場所
- ・日常忘れがちな心を思い出し、心豊かになる
- ・ビルが多数あり、魅力が少なくなった
- ・歴史や文化の厚みを感じながら生活できる
- ・自分たちのまちのことを前向きに考え行動する人たちがたくさんおられる

設問3 今回のイベントを何で知ったか（複数回答可。無回答のぞく）



設問5 オープン台地に参加した理由は（複数回答可。無回答のぞく）



設問7 オープン台地に関するご意見・ご感想

感 想

良かった点

- ・大阪の町に関する資料を大切にされているので感心しました。
- ・何度も来ているのに全く知らなかったことが多かった。
- ・オープン台地でのいろんな切り口の企画の実施。
- ・自分の地元でもこういう企画をしたらよいのと思いました。
- ・来年もオープン台地のイベントを楽しみにしています。

悪かった点

- ・期間が長すぎる気がする。1週間ぐらいでいいのでは。
- ・今年はイベント期間に対してイベント開催日がかたまっていて少し密度が欠けていた。
- ・宣伝をしっかりと。まだイベント自体を知っている人が少ないと思います。
- ・私語が多く、聞こえにくい時がありました。

要 望

既存のプログラムについて

- ・ワークショップに参加して楽しかったので、月1回の定期イベントにしてほしい。
- ・魅力をもっと知りたい。
- ・継続希望。
- ・長屋版、マンション版があるとおもしろい。
- ・お店紹介のmapがあればいいなと思いました。
- ・パンフレットを駅とかにもっと置いてほしい。
- ・キャンドルナイトはで街灯を消してもらえばより魅力が増した。
- ・お寺の内にもキャンドルを置いてみたい。
- ・江戸時代における上町台地の変貌を教えてください。
- ・上町台地の変遷がわかるもの。
- ・からぼりまちアートのようなイベントを復活させてほしい。
- ・美術的な展示（今回の写真や絵など）。
- ・パネル展示会を長期間（1週間では時間がとれなかったから）。
- ・具体的に長屋の空き物件を紹介していただきたい。やはり外からは、そのような情報を取るの難しいかも。
- ・古い家をすてきに改装して住んでみたい。
- ・昔からある商店街へお店を見学したり、料理のコツなどを教えてもらいたい。
- ・フリーランスやシェア関連のトークイベント。

新プログラムについて

- ・旧家のウォーキング、歴史ウォーキング。
- ・歴史ゆかりの解説付まちめぐり。
- ・上町台地の古きよきところ探訪ツアー。
- ・真田の抜け穴めぐり。
- ・古くからある商店などのツアー。
- ・徒歩によるスタンプラリー。
- ・上町台地背骨を歩くツアー（オープン台地プレイベントとして1月前にする。八幡浜から天王寺駅までのぼりをたててPRしながら歩く）。
- ・花に関するイベント。
- ・ふだん身近に触れることのできないようなイベント。
- ・小さな企画でも次に誰かがやってみたいと感じるようなイベント。
- ・夕日はなかなか見られなくなっているので、星光学院から見たい！
- ・カフェ巡り、パン屋巡り。
- ・魚屋さんの料理教室とか八百屋の野菜見分け方講座とか商店街のプロと関われるイベント。
- ・街バル。
- ・入浴会、おふろめぐりツアー。
- ・文化、昔からの遊びの交流イベント。
- ・オープン台地マラソン。

※その他、多数のご意見・ご感想をいただきました。